

専門教育科目		演習科目		受講料	5,000円
科目名： ITパスポート入門				科目コード	HJ07
科目主査： 秋山 純一 担当講師： 秋山 純一				単位	2
				配当年次	1
授業の目的と概要			グループワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	
ITパスポート試験は出題内容が随時改訂され、入門的試験ではあるものの、国家試験の中では最も早くITの技術動向を取り込み、関連する広大な知識範囲を認定しています。本科目では、現役でITパスポート試験対策に携わっている講師が、幅広い出題内容と解答テクニックを抑えた授業を実施し、試験に合格するための入門科目です。ビジネスマンとしてITの知識を証明したい者や、今後IT技術者として第一歩を踏み出そうとする者の受講を想定しています。累進科目である「ITパスポート試験対策講座」とセットの科目であり、本科目はITパスポート試験の範囲の半分を取り扱います。					
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし			
科目名：前提科目はありませんが、予習として授業項目と概要を確認し、関連する科目を履修した場合、当日の学習負担が軽減されます。					
履修の前提となる知識 その他特記事項		履修の前提となる知識はありませんが、パーソナルコンピュータ（PC）の基礎的な操作方法を修得することによって、コンピュータの特徴を抑えておくことと学習の導入がスムーズです。			
テキスト	『よくわかるマスター令和4-5年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集』富士通ラーニングメディア、FOM出版、2021年				
この科目の到達目標	ITパスポート試験の受験に備え、自己学習を行えるだけの知識を講義を通じて身につけることを目標にします。				
成績評価の方法	授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、参画度合いを評価対象とします。授業態度について、授業をちゃんと聞き、重要な点はノートにまとめるように取り組んでください。				
事後学習	ITパスポート試験に合格するためには、本科目の履修直後から授業中で抑えた学習範囲を骨組みとして、自学自習による知識の肉付けをすると共に、過去問題（公開問題）の演習を各自取り組む必要があります。過去問題については、教科書に同梱されているCD-ROMに解説付きで収録されています。年度の古い過去問題は、独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）のホームページに公開されています。その後、累進科目である「ITパスポート試験対策講座」の履修を推奨します。				
事後学習の参考文献	情報処理推進機構(IPA) ITパスポート試験 過去問題 https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/openinfo/questions.html				
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証					